

連絡協とは

横浜障害児を守る連絡協議会、通称「連絡協」は、障害のある子どもの権利を守り、誰もがあたりまえに地域で暮らせることを願って、昭和48年(1973年)より活動しています。自閉症スペクトラム・ADHD(注意欠陥多動性障害)・発達障害・ダウン症等染色体異常、その他、障害の種類や年齢も様々な子どもを持つ親の会の連絡会です。



「こ
ういう子育てっておもしろい!」と
笑顔で話す先輩ママに感動!

「悩
んでいた「なぜ?」の答えがわかった!

横
浜の福祉と教育の状況がキャッチできる!

地域で ふつうに 暮らしたい

私たちの子どもがよりよい暮らしができるよう、
思いや願いを集めて行政や地域に届ける場です。

横浜障害児を守る連絡協議会 事務局

〒222-0035 横浜市港北区鳥山町1752
障害者スポーツ文化センター横浜ラポール3F団体交流室内
TEL.045-475-2062 FAX.045-548-4836
E-mail:renrakukyo@hamashinren.or.jp
<http://www.renrakukyo.com/>



HPをご覧ください

いろいろあって あたりまえ
いろいろあるから おもしろい

横浜障害児を守る連絡協議会
TEL.045-475-2062 FAX.045-548-4836

連絡協では、親子一緒に学びながら成長に合わせて、こんな活動をしています。



保育・就学部会 (幼児期～小学校入学前)

うちの子、なんだか他の子とちょっと違う・・・
 障害って言われても信じたくない。でも、もしかしたら・・・
 「大きくなれば大丈夫」「そのうち治るかも」と、ご家族にとっては、いろいろと悩みの多い時期かもしれません。子どものことを少しずつ理解していくために、先輩お母さんの話や専門家の話を聞いて、不安な時期を仲間と支え合いながら活動しています。

活動内容

- ◆ 特別支援教育総合センターによる就学説明会
- ◆ 通級指導教室、個別支援学級の先生のお話
- ◆ 父親勉強会 ◆ 先輩お母さんのお話
- ◆ 専門の講師による勉強会

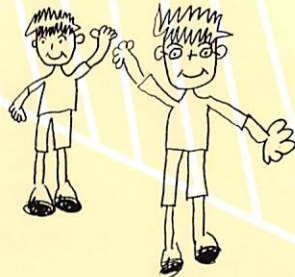
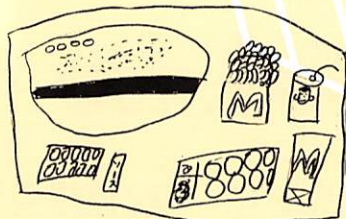


学校部会 (小学生)

「学校からのおたよりはなくすし、忘れ物ばかり」
 「うちの子、お友達とうまくやっているかしら？」
 「授業中にキョロキョロして、落ち着きがない」と、悩んでいませんか？ そんな「なぜ」や「どうしたらいいの・・・」を一緒に考えるのが学校部会です。
 子どもの育ちについて、専門家や先輩お母さんの話を聞き、子どもの特性を学びながら受け入れていくことで、親も成長していきます。

活動内容

- ◆ 横浜市教育委員会との意見交換
- ◆ 先輩お母さんのお話
- ◆ 性についての勉強会やきょうだいのお話
- ◆ 中学卒業後の進路選択について
- ◆ 専門の講師による勉強会



青年部会 (中学生・高校生)

心も身体も成長し、思春期を迎え豊かな個性が現れます。精神的に不安定になることもあります。いろいろなことが出来るようになり、少しずつ親から離れ家族以外の人との関わりが多くなります。子どもの社会性が広がることで、将来像が見えてきます。
 子どもに合った暮らしをするには、どんな支援が必要かをみんなで考えています。

活動内容

- ◆ 神奈川県教育委員会との意見交換
- ◆ 横浜市健康福祉局との意見交換
- ◆ 先輩お母さんのお話 ◆ 企業、施設見学
- ◆ 就労、グループホームなど将来にむけての勉強会



成人部会 (18歳～)

卒業し社会に出て、学校期とは違う悩みや問題が出てきます。これからの長い人生を地域で暮らし続けるために必要な事や、親なきあとのことをみんなで考えています。福祉制度や社会資源について勉強したり、親同士の情報交換の場にもなっています。

活動内容

- ◆ 横浜市健康福祉局との意見交換
- ◆ こども青少年局との意見交換
- ◆ 横浜市の制度の勉強会 ◆ 弁護士による成年後見制度の勉強会
- ◆ 年金やグループホームなど将来にむけての勉強会



協力者部会 (地域のボランティア)

障害児地域訓練会[※]で幼児の保育やその他の活動をお手伝いしています。専門家ではありませんが、障害のある子どもの成長を願っている一人として、協力しています。
 「いすにすわって、お返事できるようになったね。」とお母さんと一緒に喜びを味わったり、子育ての相談相手になったりしています。

【※】障害児地域訓練会 各地域で障害のある子をもつ親たちが、協力者(ボランティア)の協力を得ながら自主的に運営しています。

活動内容

- ◆ 各訓練会との情報交換
- ◆ ムーブメントなど発達支援の勉強会 ◆ 施設等見学

連絡協として出席している主な会議

私たちの子どもが、地域でふつうに暮らすために福祉制度や教育等について、関係機関の話し合いに参加しています。

- ・横浜市児童福祉審議会
- ・横浜市子ども・子育て会議
- ・横浜市福祉サービス第三者評価推進委員会
- ・横浜市障害者就労支援推進会議
- ・横浜市社会福祉協議会評議員会
- ・横浜市障害者支援センター運営委員会
- ・横浜市障害者人権擁護委員会
- ・横浜市地域活動ホーム連絡会
- ・セイフティーネットプロジェクト横浜会議 ほか

横浜市社会福祉協議会障害者支援センターとの共催研修会開催 (年1回)

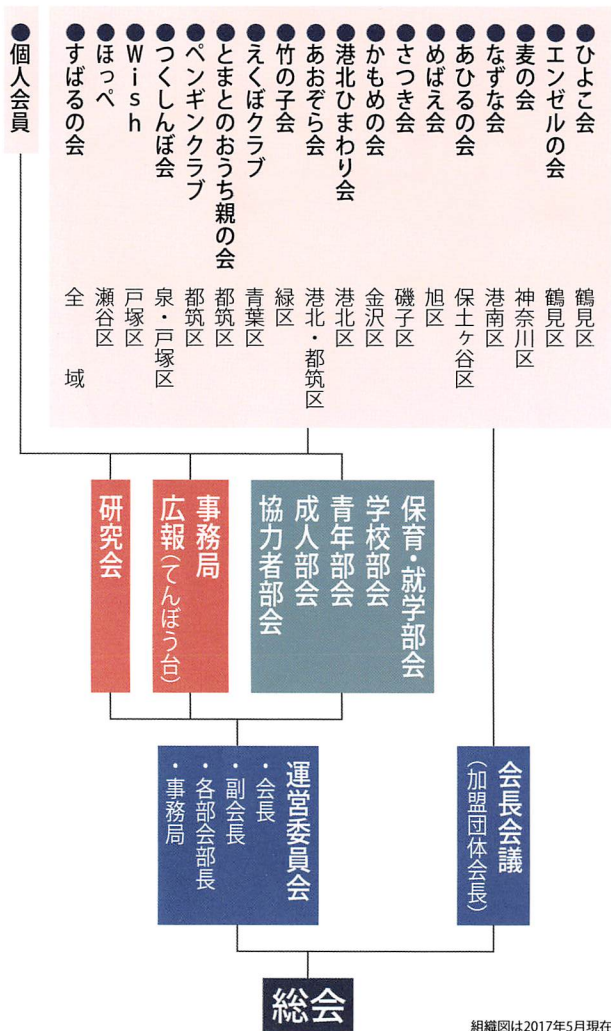
障害理解を深めるために様々な分野の講師をお招きして公開研修会を開催しています。

連絡協ミニコミ誌「てんぼう台」

てんぼう台は連絡協の会報です。連絡協会員に年5回お届けしています。



～連絡協の組織～



組織図は2017年5月現在

年会費

正会員・団体加盟 ◆ 年会費 3,000円

個人会員 ◆ 年会費 8,000円

但し、成人部個人会員 ◆ 年会費 3,000円

会員数3名以上で団体加盟ができます。

お子さんの年齢によりそれぞれの部会に所属します。

横浜障害児を守る連絡協議会

TEL.045-475-2062 FAX.045-548-4836



STOK
MA OHA
FMARIAC

W
I
S

S